

二万余人楯板をもちて松明夥数ありて責をふるは枋  
原常陸守の中座腰板を違ひて明日家上此後詰む  
豫えし今日終日の戦ひに當れたる小勢のうちに討取る  
へしそ兵庫既先陣にて鯨波の勢をきしめた山の上にも國  
をきけて待たせり越後勢の中にも越後玉大河の住人下  
治右馬守井上左衛門下兵作平八右馬守松本多右衛門名宗  
と責なりこれ中山親子赤松林兄弟ありて前後を下知  
し戦の刻より玄の下刻を息をもはらふを防戦しなり越  
後の大勢に取られ死のうちに一生を以て終ふにこそ余  
人とて只七歳に成りしける中山親子三人矢柄重  
為主従二人一所に戦ひし赤松林兄弟餘りに深入して  
之を木末と切て死生もなまじ成らぬ今も是をそ  
とて赤松山の傍より谷路を遁れし酒田溪谷を上方の  
地獄なりと名柄歩新成りて羽黒山の林原赤松と云所に  
之の介の氣を隠しり越後勢も追ひけりなり赤松林  
兄弟、鬼清丸郎と云郎等と只三人あり大將重長と  
討んと欲し然れり之を木末の陣よりを丸田兵庫子  
率を見知りて大音を呼たりなり富田の者家上方  
此軍將赤松林後と見えし赤松は丸田の兵庫が堅め  
ゆき港を以て突かれ陣原の左より百人余出て出た